岩滑小学校だより

やかちの風

学び合う　岩滑大好き　元気な子

平成２６年
３月２４日
第２２１号

３月２０日、男子４８名、女子３５名、合計８３名が本校を巣立ちました。

卒業証書授与では、校長が一人一人に学校生活のエピソードを添えて証書を手渡しました。式に臨む卒業生・在校生の態度はたいへん立派で、静粛な中にも凛としたすがすがしさを感じさせる式となりました。また、門出の言葉・別れの歌もすばらしく、卒業式を盛り上げてくれました。中学校でも夢と希望をもって、前へ進んでほしいと願っています。

卒業生「門出の言葉」（冒頭部分　～六年間の思い出～）

ぼくたち、わたしたち、８３名は、今、卒業証書を手にし、６年間の思い出とたくさんの人たちへの感謝と未来への希望を胸に、この岩滑小学校を旅立とうとしています。

小学生になることに胸をふくらませた入学式。初めて入る教室、初めて見る先生、新しい友だち。満開の桜が迎えてくれた１年生。

雨が降って急いで帰ったザリガニつり、協力して開いたおもちゃランド、イルカにさわったビーチランド、２年生。

真っ赤な鉄を見ておどろいたＪＦＥスチール工場見学、雁宿公園で食べたお弁当はおいしかった。友達と計画して買い物をした「お店たんけん」３年生。

福祉を学んだ学習発表会。はじめての委員会やクラブ活動。低学年とペアになり、高学年の自覚をもった４年生。

たくさんの思い出を作った５年生。きれいな水やたくさんの緑に囲まれた愛知県野外教育センター、協力したカレー作り、みんなで道に迷ったけど、楽しかったきもだめし、火の舞の美しさに感動したキャンプファイヤー。そして、心を一つにした音楽会。たくさんの楽器を使って指揮に合わせて演奏した「さあ踊ろう」「くまさんおどれ」、ホールいっぱいに声を響かせた「明日の空へ」、今でもあの気持ちは忘れません。

小学校生活のしめくくりとなる６年生。６年間の南吉学習の総まとめ、韓国と中国の友達にも南吉さんのことを教えることができた「日中韓子ども童話交流会」。テレビ会議で桜町小学校と交流した。南吉の心を伝えた「南吉の案内人」。南吉さんの生きた時代を劇にした 11 月の学習発表会。力を合わせた騎馬戦、運動会。奈良と京都の歴史の深さを味わった修学旅行、大きさに圧倒された大仏殿、せいを手に遊んだ奈良公園の鹿、友だちとおみやげを買った夜店、自分たちで計画を立てたタクシー研修、清水の舞台から見た京都の景色、美しく輝いていた金閣寺、あっという間の二日間だった。たくさんの思い出は、わたしたちの大切な宝。この宝を胸に、明日に向かって旅立ちます。

１組制作「落　葉」

３組制作「貝　殻」

～校長式辞（抜粋）～

６年生、８３名のみなさん、卒業おめでとうございます。ぴんと伸びた背筋、輝く瞳に、明るい未来を感じ、頼もしく思います。式場にいる在校生も今日のあなたたちの姿を目標にすることでしょう。

今日は、６年間でもっとも晴れやかな日です。テーマを「旅立とう　希望の未来へ」と決め、小学校の思い出と新しい希望を胸に、この式に臨んでいます。

みなさんが本校に入学したのは、平成２０年４月。竹内智校長の着任と同じでした。「清く　明るく　たくましく」の校訓を覚え、友達を増やしていきましたね。２年生の時、新型インフルエンザが流行し、手洗い・うがい・マスクは予防の常識となりました。３年生の３月１１日、東日本大震災が起きました。復興を願う募金をしながら、平穏な日々は、実は当たり前ではなく、命があって、家族がいて、仲間がいることが、有り難い、幸せなことだと気づきましたね。

私は、あなたたちの最高学年としての活躍ぶりを見ることができました。修学旅行では規律正しく班別行動ができました。ペア活動で１年生の子に優しく接したり、児童会や委員会でリードしたりする姿は、下級生の心に、憧れとして残りました。暑い夏、南吉生誕百年の記念事業で、日本・中国・韓国の１００人の子どもたちに対して、文学散歩の案内人役を立派に務めました。私は、南吉の作品と共に、あなたたち岩滑の子を世界に誇りたいと思いました。よい伝統を築いてくれてありがとう。

今、どんな夢がありますか。目標に向かって、どんな努力をしていますか。

８月の終わりに、ヤンキースのイチロー選手が日米通算四千本安打を達成したニュースが伝えられました。その時、イチロー選手は、「四千の安打を打つには、八千もの悔しい思いをしている。誇れるものがあるとすれば、悔しい思いと向き合ってきたこと」と語りました。

ヒットが打てた成果よりも、打てなかったときの自分の在り方を誇るイチロー選手に、私は感動し、多くを学びました。

卒業生のみなさん。

失敗を恐れず、多くのことに挑戦しましょう。何度でもトライしましょう。すばらしい能力をもつイチロー選手でさえ、八千回の失敗と向き合ったのです。いえ、八千回の悔しさに向き合えたことこそ素晴らしい能力なのでしょう。７転び８起きといいますが、失敗するごとにそこから学んで、またチャレンジすればいいと私は思っています。面倒だといって楽な道を選んだり、怠けたりすることは自分に負けることです。「失敗は成功のもと」「自分はできる」と信じて、前へ進んでください。それは、中学で一生懸命勉強をし、体を鍛え、新しい先生や友達との出会いによって、心を磨くことです。大きな目標のために、毎日の小さな課題をやり遂げることです。毎日毎日の努力の仕方が、人間としての値打ちを決めます。８０００回の悔しさに打ち勝ったイチロー選手に習い、前へ進みましょう。

２組制作「明　日」

私の背面に、卒業記念の壁画があります。南吉の詩から三編を選び、その世界を素晴らしく表現してくれました。この中に「明日」があります。

「花園みたいにまっている　祭みたいにまっている　明日がみんなをまっている」

「明日はさなぎが蝶になる　明日はつぼみが花になる　明日は卵がひなになる」

無限の可能性を秘めているあなたたちの明日を楽しみにしています。「学び合う　岩滑大好き　元気な子」を卒業しても、岩滑小学校で学び合ったことを誇りに思って、明日からもがんばってください。